

# あさお区社協

## こども新聞



発行：麻生区社会福祉協議会 広報啓発部 2018年10月発行

しゃかいふくしほうじんかわさきしあさおくしゃかいふくしきょうぎかい

社会福祉法人川崎市麻生区社会福祉協議会

〒215-0004

かわさきしあさおくまんぶくじ しんゆり かい  
川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21ビル 1階  
ちいきか

☎地域課044-952-5500 ㊚ファックス 044-952-1424

メールアドレス info@asao-shakyo.com

ホームページ http://www.kawasaki-shakyo.jp

麻生区社協



## みんなで支え合う、暮らしやすいまちづくり

### 社協とは社会福祉協議会の事です

しゃかいふくしきょうぎかい なまえ なが しゃ きょう みじか りやく  
社会福祉協議会という名前は長いので、**社会福祉協議会**と短く略しています。  
あさおく あさおくしゃかいふくしきょうぎかい ちく あさおひがしちくしゃかいふくしきょうぎかい  
麻生区には、麻生区社会福祉協議会と、地区に「麻生東地区社会福祉協議会」と  
かきお ちくしゃかいふくしきょうぎかい こんかい あさおくしゃかいふくしきょうぎかい  
「柿生地区社会福祉協議会」があります。今回は、麻生区社会福祉協議会について  
しょうかい い か しゃきょう しょうりやく あさおくしゃきょう あか  
ご紹介します。(以下、社協と省略します)麻生区社協では赤ちゃんから子ども、お  
としよ しょう ひと ひと あんしん ちいき くら ちいき  
年寄り、障がいがある人もない人もみんなが安心して地域で暮らせるように、地域で  
さまざま やくわり かつどう ひと あつ いけん ちから だ あ ふくし  
様々な役割や活動をしている人たちが集まり、意見や力を出し合って、福祉のいろいろ  
こと おこ  
な事を行っています。

あさおくしゃきょう だい き あさおくちいきふくしかつどうけいかく ふくし つく  
麻生区社協では、第3期麻生区地域福祉活動計画「ひと・ひと」福祉プランを作り、  
ささ あ く もくひょう し あ  
「みんなで支え合う、暮らしやすいまちづくり」を目標に、1「知り合う」2「ふれあう」3「ささ  
あう」という三つの柱を決めて、地域住民の方や区役所や福祉の仕事をしている  
かたがた きょうりよく ふくし すす  
方々と協力して福祉のまちづくりを進めています。

みんなでささえる みんなのふくし



麻生区社協キャラクター  
キューちゃん

あさおくしゃきょう  
麻生区社協のマスコットキャラ  
クターとして、英語で「かわいい」を  
あらわ キュート  
表すCUTEからキューちゃんとな  
なづ あさおくしゃきょう  
名付け、麻生区社協のホームペ  
ージや広報紙などいろいろなこ  
あさおくしゃきょう ピーアール  
ろで麻生区社協のPRをして  
います。キューちゃんがどんなところ  
さか  
にいるか探してみてね！

### みんなのしあわせ～福祉の心～

みんながともに幸せに暮らしていくために、思いやりを持  
ち、おたがいに手をさしのべ合うことを『福祉』と言っていま  
す。福祉の心はともに感じる心です。まわりの人のさびし  
さや苦しさを自分のこととして感じる心が大切です。一人  
ひとりの苦しみや悩みをみんなでわかち合い、助け合い、と  
もに生きる明るい社会を作ることが福祉の心なのです。  
わたしたちはこのことをよく理解し、どうしたらみんなが幸  
せに暮らしていけるかを考えましょう。そして、毎日の生活  
の中で自分ができるところからはじめてみましょう。

出典：川崎市発行 ふれあいかわさきの福祉-第31版



あさおくしゃきょう ぶかい いいんかい  
麻生区社協では、部会と委員会をつくって、  
かつどう こんかい ぶかい しょうかい  
活動しています。今回は部会をご紹介します。

こうほうけいはつぶかい  
広報啓発部会

『福祉』と『社協』の広報について話し合い、福祉に関  
わるイベント「親子福祉探検隊」などの運営をしています。

こそだ しえんぶかい  
子育て支援部会

ちいき あんしん こそだ かんきょう めざ  
地域で安心して子育てができる環境づくりを目指して  
こうざ かんが うんえい  
講座などを考え、運営をしています。

ざいたくふくし ぶかい  
在宅福祉サービス部会

「おたがいさま」の気持ちで、誰もが地域で安心して暮ら  
すことができる福祉の街づくりを目指して講演会や  
こんだんかい かんが うんえい  
懇談会などを考え、運営をしています。

# とっけき しゅざい がっこう 突撃!取材!学校におじゃましました

あさおくしゃきょうでは、がっこうのじゅぎょうなどでじっさいにしょうに障がいがある人にお話をしてもらったり、くるまたいけんなど『福祉』をまなぶためのてつだいをしています。29年度は44件、3,450人(延べ)がまなびました。

へいせい30ねん9がつ12にち、かなほどしょうがっこう6ねんせい『総合的な学習の時間』を見学取材させていただきました。

お話しをしてくれた方  
視覚障がい者 武村 桂子 さん  
身体障がい者(車イスユーザー) 松本 崇 さん



武村さんは生まれつき目が見えないのではなく、大学生の時に病気がよって、失明し、目がまったく見えなくなってしまったそうです。白杖(視覚障がい者用の白い杖)や点字、電化製品などの音声案内機能を利用して、いろいろと工夫をしながら武村さんらしい生活を送られています。やはり移動すること、読むことができないので情報を得ることが難しく困るそうです。白杖を持った人が困っていそうだったら、遠慮なく「大丈夫ですか」と声をかけてくださいと武村さんが教えてくださいました。

## かなほどしょう 6ねんせいのみなさんの 感想やふりかえり

- ・「こうやって暮らしているんだ」と知ることができた。もし、こういう人を見かけたら、手助けできるようにしたい。
- ・とても大変な思いをされていることがわかった。
- ・視覚障がいの方は約32万人いると聞いて驚きました。
- ・全ての視覚障がいの方が点字の読み書きができるわけではなく、1割程度の人しかできないことがわかりました。

- ・いろいろな所の工夫で、目の見えない方や車イスの方が助かっているのだとわかりました。
- ・車イスの方は想像以上に大変だということがわかりました。
- ・松本さんは筋肉があるから、一人で坂を上ることができるけど、お年寄りや一人ではできないから、介助の人がいないといけないと思いました。
- ・これからは、自分が介助する人となって、困っている人を助けていこうと思いました。
- ・苦労している人を見ているだけではなく、見かけたら何かできることを見つけて実践したいと思いました。



松本さんは、20才の時に、屋根からおちて、背髄を損傷し、麻痺によって腰から足先までの感覚がないそうです。足で立つこと、歩くことができなくなり、自分の足のかわりに車イスを利用していません。すべての動きは腕や上半身の力で行うので、松本さんの両腕の筋肉はもりもりです。その上半身の筋肉をパワーリフティングという競技に活かして、今は、東京パラリンピックの出場を目指して、日々トレーニングをされているそうです。



# 「おはよう」「いってらっしゃい」



## ～わたしたちにも出来ることあるんだよ！～



あんしんセンター<sup>りよう</sup>を利用しているおばあちゃんの家はアパートの2階<sup>いえ</sup>にあり、一人暮らし<sup>かい</sup>をしています。部屋の窓からは車<sup>ひとりぐ</sup>や人が通る道路が見えます。おばあちゃんは、暑い日<sup>あつひ</sup>でも寒い日でも毎朝決まった時間に窓を開けて、登校<sup>あつひ</sup>することもたちにあいさつをしています。なぜ毎日しているのかと聞いてみると、「あいさつしているうちにこどもたちもあ<sup>さむひ</sup>いさつや声をかけてくれるようになって、毎日、そのあいさつで、こどもたちから元気<sup>まいいち</sup>をもらっているんだよ」と笑顔で話してくれました。

あいさつでおばあちゃんが元気になるなんて、わたしたちにも出来ることあるだね。  
みんなもぜひ、登下校時に、いつも会う近所の人にあいさつしてみよう！



### 「あんしんセンター」ってなあに??

社協<sup>しゃきょう</sup>の「あんしんセンター」では、お年寄り<sup>おとしより</sup>や障がい<sup>しょうがい</sup>がある人などお金の使い方や支払い、書類<sup>しよるい</sup>の書き方などで困っている人と契約<sup>けいやく</sup>して、安心して日常生活<sup>あんしん</sup>が送れるようにお手伝い<sup>てつだ</sup>をしています。

## 「地域での支え合い」について考えてみよう

社協<sup>しゃきょう</sup>では、ボランティアしたい人とボランティアしてほしい人<sup>ひと</sup>をつなぐことを行っています。例えば、ピアノを弾くのが得意<sup>とくい</sup>で何か地域<sup>ちいき</sup>のみんなの役に立ちたい<sup>やくた</sup>なと思っている人<sup>おも</sup>に、ピアノ演奏<sup>えんそう</sup>をして欲しいという施設<sup>ほ</sup>を紹介<sup>しせつ</sup>したり、地域<sup>ちいき</sup>で発表<sup>はっぴょう</sup>する場がないか、一緒に考<sup>いっしょ</sup>えたりしています。身近<sup>みぢか</sup>なところで、できることを、自分<sup>じぶん</sup>からすすんで、活動<sup>かつどう</sup>するこ<sup>こと</sup>とが『ボランティア活動』です。

みんなの役に立ちたい<sup>やくた</sup>なという気持ち<sup>きも</sup>がボランティア活動<sup>かつどう</sup>の出発点<sup>しゅつぱつてん</sup>！また、こんなお手伝い<sup>てつだ</sup>をしてくれるボランティアさん<sup>さん</sup>っているのかな？など、そんな時には、ボランティア活動<sup>かつどう</sup>振興センター<sup>しんこう</sup>がある麻生区社協<sup>あさおくしゃきょう</sup>に相談<sup>そうだん</sup>してね。



社協<sup>しゃきょう</sup>では、「じぶんのまちを良くするしくみ」である『赤い羽根共同募金』<sup>あか はねきょうどうぼきん</sup>の事務局<sup>じむきょく</sup>の仕事<sup>しごと</sup>もしています。赤い羽根共同募金<sup>あか はねきょうどうぼきん</sup>については、校内募金<sup>こうないぼきん</sup>にご協力<sup>きょうりょく</sup>をいただき、ありがとう<sup>ぼきん</sup>ございます。募金のつかい<sup>つかい</sup>みちとして、麻生区社協<sup>あさおくしゃきょう</sup>の広報紙<sup>こうほうし</sup>の発行<sup>はっこう</sup>や地域<sup>ちいき</sup>のこうれいしゃ<sup>こうれいしゃ</sup>やしょうしゃ<sup>しょうしゃ</sup>かじえんじょ<sup>かじえんじょ</sup>はいしよく<sup>はいしよく</sup>かいしよく<sup>かいしよく</sup>高齢者<sup>こうれいしゃ</sup>や障がい者<sup>しょうがいしゃ</sup>の家事援助<sup>かじえんじょ</sup>や配食<sup>はいしょく</sup>・会食<sup>かいしょく</sup>サ-ビス<sup>サービス</sup>、子育て支援<sup>こそだ しえん</sup>などの福祉活動<sup>ふくしかつどう</sup>に役立<sup>やくだ</sup>てられています。もっと詳しい<sup>くわ</sup>つかいみち<sup>あか はね</sup>については、赤い羽根共同募金<sup>あか はねきょうどうぼきん</sup>のホームページ<sup>み</sup>があるので、見てみてね！

赤い羽根共同募金<sup>あか はねきょうどうぼきん</sup>のことについて  
<https://www.akaihane.or.jp/find/for-students/>  
 赤い羽根共同募金<sup>あか はねきょうどうぼきん</sup>のつかいみち データベース「はねっと」  
<http://hanett.akaihane.or.jp>

### 「ボランティア活動振興センター」ってなあに??

ボランティア活動<sup>かつどう</sup>する人<sup>ひと</sup>が増え、お互い<sup>たがい</sup>に支え合<sup>ささあ</sup>って暮らし<sup>く</sup>ていくことができる暮らしやすいまちをめざ<sup>めざ</sup>して、ボランティア活動振興センター<sup>かつどうしんこう</sup>は、ボランティア養成講座<sup>ようせいこうざ</sup>や交流会<sup>こうりゅうかい</sup>を開いたり、ボランティア相談<sup>そうだん</sup>コーナー<sup>かいてつ</sup>を開設<sup>かいはつ</sup>しています。また、川崎市社会福祉協議会<sup>かわさきししゃかいふくしかきょうぎかい</sup>と協力<sup>きょうりょく</sup>して、夏休み<sup>なつやすみ</sup>には、小学生<sup>しょうがくせい</sup>から大学生<sup>だいがくせい</sup>までを対象<sup>たいしょう</sup>とした「夏休み福祉チャレンジボランティア体験学習<sup>なつやすみふくしチャレンジボランティアたいけんがくしゅう</sup>（略してチャレボラ）」を行<sup>りやく</sup>っています。こどもや高齢<sup>こうれい</sup>の方<sup>かた</sup>、障がい<sup>しょうがい</sup>のある方<sup>かた</sup>との交流<sup>こうりゅう</sup>や、環境<sup>かんきょう</sup>、地域<sup>ちいき</sup>イベントなどたくさんのプログラム<sup>な</sup>の中からボランティア体験<sup>たいけん</sup>ができます。詳しくは、夏休み<sup>なつやすみ</sup>前の6月<sup>がつ</sup>～7月<sup>がつ</sup>に学校<sup>がっこう</sup>を通じて<sup>つう</sup>てらっしゃい<sup>てら</sup>しませいたします。

# 第29回

# あさお福祉まつり

テーマ

『来て！見て！  
つなごう心の輪』



ぜひ  
来てね

とき

11月11日(日)

午前10時～午後3時

(雨天開催)

ところ

麻生区役所  
麻生市民館 周辺

入場無料  
(先着順)

麻生市民館大ホールイベント

10:30～(予定)

日本映画大学 卒業映画製作

「沢のぼり」本編30分



沢のぼり

映画『沢のぼり』は、日本映画大学の学生が製作した映画です。昨年、イオンシネマでの公開、ロケ地となった秦野市では市内のイベントや公立中学校の総合学習授業で上映された家族愛をテーマにした映画です。



区内で地域福祉活動をしてい  
るさまざまな団体が集まって、  
みんなに「福祉」を身近なものに  
感じてもらうたり、理解を深め  
てもらおうことを目的に開催し  
ています。



まつり当日は  
シールラリーもやってるよ！

「福祉まつり」を見てまわりながら、ラリーポイントでミッションにクリアしていくと抽選でプレゼントがもらえるよ

## まちがいさがしクイズ

上と下の絵で違うところが5つあるよ。探してみてね。



答えは2ページの下にあるよ。

編集  
後記

みなさまの声を

お聞かせください！

麻生区に住む小学生の皆さんにも  
もっと『福祉』について考えるきっかけや  
社協のことについて知っていただきたいと  
思い、この『あさお区社協こども新聞』を  
作りました。感想やご意見がありましたら、  
麻生区社協広報啓発部会までご連絡ください。



広報啓発部会の様子

問い合わせ

川崎市麻生区社会福祉協議会

地域課044-952-5500

FAX 044-952-1424

メールアドレス info@asao-shakyo.com

